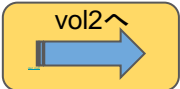




第3日目(7/17) 現地2日目 午前陸前高田市伝承館・午後はまわらす vol1



陸前高田市 震災遺構伝承館

岩手県陸前高田市も津波被害で市街地が大きな被害を受けた場所です。奇跡の一本松・旧道の駅のすぐ近くに建てられた伝承館で、現地のボランティアガイドの方に、資料などについてお話を聞かせて頂きました。

はまわらす支援活動

東日本大震災・津波の影響で、子供たちが海で遊べなくなっている、といことで、子供が海で遊べるようにするための活動をしている「はまわらす」の活動に参加しました。月に数回はまわらすの皆さんがビーチの清掃活動をされているそうですが、今回ビーチ清掃に参加しました。プラスチックごみが多くて驚きでした。



伝承化にて。ガイドのお話



折れ曲がった気仙沼大橋の鉄骨



奇跡の一般末の前にて



防潮堤上の献花台にて黙とう



防潮堤より市街を

生徒たちのふりかえり(vo1)



3年藤井

昨夜からお世話になっている民宿は大阪での忙しい朝とは違い、皆で揃って食べる採れたての野菜や卵はとても美味しく感動しました。最初に訪れた陸前高田津波伝承館では、地層の津波堆積物の層によって過去の三陸での津波を推測したのがあり、授業で習った地層調査がこのようなところにも生かされていることに驚きました。また東日本大震災での犠牲者の死因の約9割が溺死であることから、地震や火事の被害よりも津波による被害が圧倒的に多いということがわかりました。そして「奇跡の一本松」はその遺伝子を受け継いだ松が多く植えられていて、それらが今後の復興のシンボルにもなっていくと思うと成長した姿をまた見に行きたくなりました。

「はまわらす」でのビーチクリーンでは想像以上のゴミがあり、人為的に生態系が壊されていていっていると思うと胸が痛みました。大阪でも他人事とは思わずにゴミ拾いなど小さなことから努力しようと思います。

2年中村

陸前高田津波伝承館では津波の怖さを改めて実感し、被害に遭って亡くなった人の半分以上が被害の大きさを想像できなかったがゆえに行動出来なかったということを知りました。それを聞いて今後どんな災害があろうと油断してはならないと思いました。この災害を風化させてはならないと強く思いました。次にビーチのゴミ掃除をしました。そこでは、拾っても拾いきれないほどのゴミが落ちていました。それらは全て人間が出したゴミです。海の生物がゴミを食べ、その生き物を私たち人間が食べるという負のスパイラルを防ぐためにも海にゴミがあるということは決して良いことではありません。私たちはたとえ海の近くに住んでいなくともゴミを出さないように努力するといっただけでこの環境は変わってくると思います。現地でビーチクリーンの活動をしている人はこう言っていました。『私たち1人ひとりがしていることはとても小さいことだけれど決して無力ではない。』この言葉がとても胸に刺さりました。小さな行動が大きな変化を生むと学びました。

